

平成 19 年度予算 施策別概要

620 戦略計画の展開

(主担当部 : 政策部)

62001	戦略計画の推進	(政策部)
62002	広聴広報マネジメントの適切な運営	(政策部)
62003	政策開発力の向上	(政策部)

< 施策の目的 >

(対象) 各施策が

(意図) 戦略計画に基づき展開され、県民に成果が届いている

< 施策の数値目標 >

施策目標 項 目 (主指標)	各施策の主指標の達成割合	目標値		2010	60%
				2007	60%
		現状値		39.7% (2005年度)	

目標項目 (主指標) の目標値を達成した施策が全 60 施策に占める割合 (行政内部取組を除く)。現状値は、第一次戦略計画の 63 施策の 2005 年度の実績を参考までに示した (政策部企画室調べ。) なお、第二次戦略計画では、県民にとっての成果を表す指標である点は変わらないが、第一次戦略計画のように「県民意識基礎調査」を実施して県民の満足度等を把握する指標は設定していない。

県の取組	各施策の副指標の達成割合	目標値		2010	80%
				2007	80%
		現状値		-	
目標項目 (副指標)	数値目標を達成した重点事業の割合	目標値		2010	100%
				2007	100%
		現状値		-	
(副指標)	県民の声データベースシステムの中で、県政に反映するとされた「県民の声」の割合	目標値		2010	65%
				2007	60%
		現状値		59.8%	

< 現状と課題 >

- ・ 「県民しあわせプラン」では、「みえけん愛を育む“しあわせ創造県”」を「県民が主役となって築く」ことを基本理念に掲げ、「地域主権の社会」を目指しています。
- ・ 第一次戦略計画に引き続き、この「県民しあわせプラン」の基本理念をさらに具体化するために、「文化力」と「新しい時代の公」の考え方を基本に、第二次戦略計画の策定作業を進めています。
- ・ この戦略計画を展開し、成果を上げるためには、各種広聴広報ツールの活用等により、これらの考え方について県民の皆さんとの情報共有を進めるとともに、県民ニーズを把握するほか、施策、事業の進捗状況等を分析し、その結果を毎年の県政運営に反映させていくことが必要です。
- ・ また、地方分権が進展する中、地域の主体的な政策の展開を一層進める必要があり、そのた

めには、中長期の政策課題の調査研究を進めるとともに、現状分析、課題抽出、政策の企画・立案など職員の政策開発能力の向上が求められています。

<平成19年度の取組方向>

「県民しあわせプラン」の基本理念を実現するため第二次戦略計画を策定し、「文化力」と「新しい時代の公」の考え方について、県民や市町の皆さんに理解を深めていただけるようにPR等に取り組みます。

戦略計画に基づく県政を県民の皆さんの参加を得て展開するため、「県民の声データベース」や「一万人アンケート」などのしくみによる県民ニーズの把握に努めます。こうしたこともふまえ、戦略計画の重点的な取組や、施策、事業の進捗状況等を把握し、毎年の県政運営に反映します。

職員への「文化力」や「新しい時代の公」の考え方の浸透と必要な能力の向上に取り組むとともに、中長期の政策課題の調査研究等を通じて、地方分権時代にふさわしい組織、職員として政策開発力の向上をはかります。

<主な事業>

総合計画進行管理事業【基本事業名：62001 戦略計画の推進】

予算額： 18,520千円 41,283千円 *

事業概要：「県民しあわせプラン」を着実に進めるため、第二次戦略計画を策定するとともに、同計画を県民の皆さんと共有し、推進していくために、「文化力」と「新しい時代の公」の考え方の普及啓発を含め、PR等を行います。また、同計画に掲げた目標達成に向け、的確に進行管理を行うとともに、一万人アンケートを実施するなど、県民の皆さんの意見を反映しつつ計画を推進していきます。

広聴体制充実事業【基本事業名：62002 広聴広報マネジメントの適切な運営】

予算額： 12,384千円 6,868千円

事業概要：県民の声をよく聴き、県民ニーズを的確に把握し、県政への反映に活用できるよう、「県民の声データベースシステム」の改良や広聴相談事務嘱託員の配置など、全庁的な広聴体制の充実をはかります。

政策研究費【基本事業名：62003 政策開発力の向上】

予算額： 20,522千円 17,896千円

事業概要：政策研究講座等の各種セミナー開催、政策研究ワークショップ実施、「地域政策三重から」の発行を通じて職員の政策研究活動の場づくりを進め、職員の主体的な研究活動を支援します。